

みずほマーケット・トピック(2021年8月6日)

内容 1. 為替相場の動向

2. 来週の注目材料

※誠に恐れ入りますが、「3. 本日のトピック」はお休みさせていただきます。

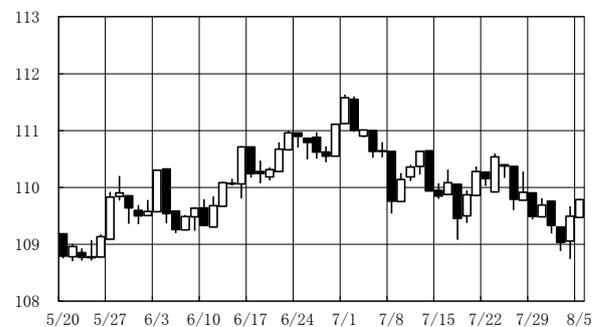
1. 為替相場の動向(関連レポート:「みずほ Customer Desk Report」、「今週の為替相場見通し」)

- 今週のドル/円相場は週後半に値を戻す展開。週初2日、109.70円付近でオープンしたドル/円は、前半はやや方向感に欠ける値動きとなったが、海外時間には米7月ISM製造業景気指数が市場予想を下回ったことや米株、米金利の軟調推移を背景にドル売りが加速し109円台前半まで急落した。3日、ドル/円は109円台前半でじり安の推移となったが、海外時間に入り原油価格や米株の軟調推移を受けリスク回避の円買いが強まり、米長期金利の低下によるドル売りも相まって一時108円台後半まで値を下げた。4日、ドル/円はやや値を戻す展開となるも、米7月ADP雇用統計の予想以上の悪化を受けて、一時週安値の108.73円まで下落。しかしその後、米7月ISM非製造業景気指数が予想を上回る結果となったほか、クラリダFRB副議長が今後の金融政策につきタカ派寄りの発言をしたことが材料視され、109.70円付近まで急伸した。5日、ドル/円は109円半ば付近で推移していたが、米雇用関連指標の改善や米株が持ち直したことで一時週高値の109.80円まで値を戻した。本日のドル/円も前日の高値付近での取引が続いている。
- 今週のユーロ/ドル相場は軟調地合いとなった。週初2日、1.18台後半でオープンしたユーロ/ドルは、1.19付近までじりじりと上昇するも、買い一巡後は動意に乏しい展開となった。3日、米長期金利の低下を受けて上昇するも、ユーロ/円の下落に連れ安となり1.18台半ばまで反落した。4日、ユーロ/ドルは、米経済指標の冴えない結果を受けたドル売りに一時週高値の1.1899をつけたが、その後発表された米7月ISM非製造業景気指数の強い結果やクラリダFRB副議長のタカ派な発言を要因にドル買い優勢となり、1.18台前半まで急落した。5日、前日の流れを受けて上値の重い推移は続き、後半にかけて一時週安値の1.1829まで下落した。その後は翌日に米7月雇用統計の発表を控える中、狭いレンジでの推移となった。本日のユーロ/ドルは、前日の安値を更新する展開となっており、1.1830付近での取引となっている。

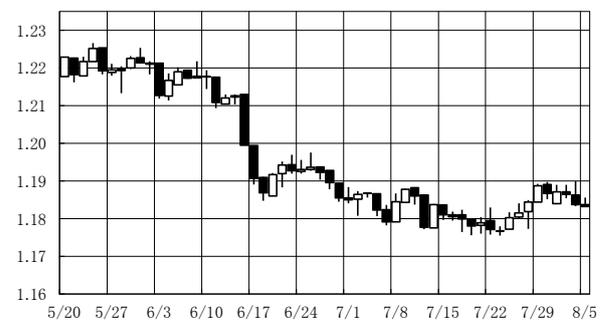
今週のおもな金融市場動向(出所:ブルームバーグ、みずほ銀行)

ドル/円相場の動向

		前週末	今 週			
		7/30(Fri)	8/2(Mon)	8/3(Tue)	8/4(Wed)	8/5(Thu)
ドル/円	東京9:00	109.42	109.72	109.27	109.00	109.53
	High	109.82	109.77	109.34	109.68	109.80
	Low	109.37	109.19	108.88	108.73	109.41
	NY 17:00	109.69	109.33	109.03	109.49	109.79
ユーロ/ドル	東京9:00	1.1891	1.1865	1.1875	1.1869	1.1837
	High	1.1909	1.1897	1.1893	1.1899	1.1857
	Low	1.1852	1.1860	1.1854	1.1833	1.1829
	NY 17:00	1.1867	1.1872	1.1865	1.1837	1.1833
ユーロ/円	東京9:00	130.09	130.14	129.72	129.33	129.64
	High	130.50	130.40	129.86	129.81	130.01
	Low	130.03	129.62	129.18	129.14	129.64
	NY 17:00	130.13	129.73	129.39	129.62	129.93
日経平均株価	27,283.59	27,781.02	27,641.83	27,584.08	27,728.12	
TOPIX	1,901.08	1,940.05	1,931.14	1,921.43	1,928.98	
NYダウ工業株30種平均	34,935.47	34,838.16	35,116.40	34,792.67	35,064.25	
NASDAQ	14,672.68	14,681.07	14,761.30	14,780.53	14,895.12	
日本10年債	0.01%	0.01%	0.01%	0.004%	0.01%	
米国10年債	1.22%	1.18%	1.17%	1.18%	1.22%	
原油価格(WTI)	73.95	71.26	70.56	68.15	69.09	
金(NY)	1,817.20	1,822.20	1,814.10	1,814.50	1,808.90	



ユーロ/ドル相場の動向



2. 来週の注目材料

- 米国では、今晚6日(金)に7月雇用統計が発表される。前回6月の非農業部門雇用者数は+85.0万人(前月比、以下同様)と市場予想(+72.0万人)を上回る結果となった。民間部門雇用者数は+66.2万人、政府部門雇用者数は+18.8万人の結果となった。民間部門雇用者数に関する内訳は、民間サービス部門は+64.2万人と5月の+49.7万人と比較して強い回復を見せた。宿泊・娯楽業が+34.3万人と増加分の半分強を占めた。そのほか、流通業や小売業の伸びが目立った。財部門は+2.0万人と小幅に上昇。製造業が+1.5万人となったほか、建設業がマイナス幅を縮小させた。政府部門については教育関係の雇用が堅調で5月の+6.7万人から改善した。一方、失業率は5.9%と0.1%ポイントの悪化。労働参加率(労働力人口÷生産年齢人口)は、61.6%と横ばいの推移となった。失業者の内訳をみると、長期失業者(過去27週間以上にわたって職探しをしている失業者)は+23.3万人と、3か月ぶりに増加した。失業者全体に占める割合は42.9%と前月比+2.0%ポイント拡大した。失業率および長期失業者に関しては、前月比で共に悪化する結果となったが、従前9月終了とされていた失業給付を6・7月で取りやめる州も出てきており、失業手当を受けていた層が今後労働市場に戻ることを期待されている。ブルームバーグの事前予想では、7月の結果に関して、非農業部門雇用者増加数を+85.8万人の増加を見込んでいる。失業率については、5.7%の予想で、労働参加率は61.7%となっている。

このほか、経済指標関連では11日(水)に7月CPIの公表を控えている。6月の結果は前年同月比+5.4%と約13年ぶりの大きな伸び幅を記録したほか、食品・エネルギーを除くコアベースでも前年同月比+4.5%と1991年11月以来の高い伸びを記録したことが話題となった。先月末のFOMCにおいて物価上昇はあくまで一時的とされたが、7月の結果とFRBがそれをどう受け止めるかについては引き続き注目する必要がある。なお、ブルームバーグでは7月CPIを同+5.3%と予想している。

	本 邦	海 外
8月6日(金)	・6月景気動向指数(速報)	・米7月雇用統計
9日(月)	・振替休日	・ユーロ圏8月センチックス投資家信頼感指数 ・米6月求人件数
10日(火)	・6月経常収支 ・7月景気ウォッチャー調査 ・7月銀行貸出動向	・ユーロ圏8月ZEW景気期待指数
11日(水)	・7月工作機械受注(速報)	・米7月CPI ・米7月財政収支
12日(木)	・7月国内企業物価指数	・米7月PPI ・ユーロ圏6月鉱工業生産
13日(金)	—————	・米7月輸出/輸入物価指数 ・米8月ミシガン大学消費者マインド(速報) ・ユーロ圏6月貿易収支

【当面の主要行事日程(2021年8月～)】

米ジャクソンホール経済シンポジウム(8月26～28日)
 ECB政策理事会(9月9日、10月28日、12月16日)
 日銀金融政策決定会合(9月21～22日、10月27～28日、12月16～17日)
 FOMC(9月21～22日、11月2～3日、12月14～15日)

市場営業部・金融市場部
 チーフマーケット・エコノミスト
 唐鎌大輔(TEL:03-3242-7065)
daisuke.karakama@mizuho-bk.co.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

バックナンバーをご希望の方は以下のサイトからお取り頂くことも可能です

<http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ.html> (Archives) http://www.mizuuhobank.co.jp/forex/econ_backnumber.html

発行年月日	過去6か月のタイトル
2021年8月3日	「雇用の最大化」に近づく米国経済
2021年8月2日	アフターコロナを捉えた米欧の4～6月期GDP
2021年7月30日	週末版
2021年7月29日	FOMCを終えて～「著しい進展」が視野に～
2021年7月28日	1人負けが鮮明となっている日本の経済・金融情勢
2021年7月27日	「米国買い」をテーマとする金融市場の現状
2021年7月26日	ECB政策理事会を終えて～歴史的な修正～
2021年7月21日	週末版
2021年7月20日	変化の兆候を感じる円相場～需給・物価要因に変調～
2021年7月19日	気候変動オペを受けて～バランスに配慮した素案～
2021年7月16日	週末版(「ドル安見通し」の内情を探る～「需給」でドル安の真実味～)
2021年7月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年6月分)
2021年7月14日	米インフレ率の騰勢とノイズ化するドットチャート
2021年7月13日	気候変動対策に動き出したECB～戦略修正を受けて～
2021年7月12日	猜疑心強まる民間部門～緊急事態宣言と貯蓄～
2021年7月9日	週末版(ECB、18年ぶりの戦略修正の中身～ハト派修正であることは確か～)
2021年7月8日	米金利低下でも買われぬ円。理由はどこに
2021年7月6日	想定される3つのシナリオ～BIS年次報告②～
2021年7月5日	Pandexitと格差拡大～BIS年次報告～
2021年7月2日	週末版(2021年上半期の為替相場レビュー～下半期はワクチンから金融政策へ～)
2021年7月1日	世界の為替準備動向～21年3月末時点～
2021年6月28日	22年Q1に完全回復を見込むECB。「次の一手」は?
2021年6月25日	週末版(ワクチン相場の意味期限とリスク～「ワクチン接種先進国のつまずき」に怯える局面～)
2021年6月23日	やはり無理が出始めた北アイルランド国境管理
2021年6月22日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その②～
2021年6月21日	遂に日銀も踏み出した中銀のグリーン化～その①～
2021年6月18日	週末版
2021年6月17日	FOMCを終えて～前倒しで進む正常化シナリオ～
2021年6月16日	新たな安全資産の誕生～ハミルトン・モーメントか否か～
2021年6月15日	イングランド行動制限延長も構図は変わらず
	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年5月分)
2021年6月14日	ビットコイン法定通貨化に関する考察
2021年6月11日	週末版(ECB政策理事会を終えて～PEPPのその先を考える～)
2021年6月9日	ワクチン追い風に盛り返すドイツと党～最後の前哨戦～
2021年6月8日	試され始めた「双循環」～元高容認に変調～
2021年6月4日	週末版(米5月雇用統計を前に～どうあれドル/円相場の行く先は変わらず～)
2021年6月3日	「蚊帳の外」感の強まる円相場～細る取引高～
2021年6月2日	着実に進むユーロ圏の日本化とユーロの堅調
2021年6月1日	米インフレ基調の現状と正常化プロセスへの考察
2021年5月28日	週末版(BOE早期利上げ観測の傍らで浮上する英国リスク～試されるワクチンの力～)
2021年5月26日	30年連続「世界最大の対外純資産国」の背後にドイツあり
2021年5月25日	「量」を意に介さないユーロ相場の騰勢
2021年5月24日	「コロナの終わり」で再認識する暗号資産の虚栄
2021年5月21日	週末版
2021年5月20日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年4月分)
	FOMC議事要旨～テーパリングが必要なのは財政政策?～
2021年5月19日	ECBのテーパリングはあるのか?
2021年5月18日	鮮明になる円に対する低い関心
2021年5月17日	円相場の基礎的需給環境～Q1を終えて～
2021年5月14日	週末版
2021年5月13日	インフレ懸念で米金融政策は動きそうか?
2021年5月12日	連動が戻り始めた米株値と米消費者心理
2021年5月11日	スコットランド独立を巡るQ&A～現状と展望～
2021年5月10日	最近の為替市場に見る「正常化の胎動」
2021年5月7日	週末版(FRBの対話を阻害してしまいうエレン長官の存在～避けたい「院政」状態～)
2021年5月6日	明暗が鮮明になった「米国 vs. ユーロ圏 & 日本」
2021年4月30日	週末版
2021年4月27日	「成長痛」に直面しそうな新興国はどこにあるか?
2021年4月26日	年後半に警戒したい金融市場の「成長痛」
2021年4月23日	週末版(ECB政策理事会を終えて～6月、テーパリングと曲解されるリスクを警戒～)
2021年4月21日	ユーロ圏銀行貸出態度調査～与信環境の厳しさは継続～
2021年4月20日	調整色が強まってでもワクチン相場の核心は変わらず
2021年4月19日	為替政策報告の読みから～イエレン長官の思惑は～
2021年4月16日	週末版(長きにわたる正常化プロセスの始まりか～まずはパウエルショックの回避が至上命題～)
2021年4月15日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年3月分)
2021年4月14日	多様化が進む世界の為替準備～ドル離れが顕著に～
2021年4月13日	ユーロ相場の展望～盤石の需給が支えに～
2021年4月12日	近年の「年間価値幅」をこなしたドル/円相場の今後
2021年4月9日	週末版(GFSRも懸念する世界経済の「成長痛」～中長期的に広がる「金利の無い世界」のフロンティア～)
2021年4月7日	IMF世界経済見通しが示す新興国の憂鬱
2021年4月6日	暗雲垂れ込めるアフターメルケルのドイツ政治
2021年4月5日	米3月雇用統計の読み方～長期失業者割合は上昇～
2021年4月2日	週末版(欧州で台頭するワクチン・ナショナリズム～EU 離脱を象徴するワクチン戦争～)
2021年4月1日	ラガルドECB総裁、「挑発」の真意はどこに?
2021年3月29日	リスクシナリオの点検～上下のリスクを検討する～
2021年3月26日	週末版(現状を理解するための3つのテーマ「金利」・「コロナ抑制状況」・「原油」～「需給」は小休止～)
2021年3月25日	ドイツ州議会選挙に見る「移民から環境へ」のシフト
2021年3月22日	本邦個人投資家の対外資金フロー動向(2021年2月分)
2021年3月19日	週末版(「実質金利ゼロ」が次の節目?～ハイライトは4～6月期か?～)
2021年3月18日	FOMCレビュー～現状維持に見る強気の足音～
2021年3月16日	FOMCプレビュー～ドットチャート&議長会見～
2021年3月15日	期待の米国、不安の日本～コロナ対応の明暗～
2021年3月12日	週末版(ECB政策理事会を終えて～significantly higher paceの解釈～)
2021年3月11日	ECB政策理事会プレビュー～PEPPの加速を示唆へ～
2021年3月9日	年初来の為替市場から見える「今年のテーマ」
2021年3月8日	好調な米2月雇用統計にも見逃せない危うさ
2021年3月5日	週末版
2021年3月4日	英ボンド急騰の背景～経済対策、ワクチン、成長率～
2021年3月3日	米金利に連れたユーロ圏金利～ECBは容認できず～